

2024年8月9日

厚生労働大臣 武見 敬三 様

新型コロナウイルス治療薬に対する公費支援を求める要請

立憲民主党 厚生労働部門

新型コロナウイルスは感染症法上の5類に移行しましたが、1つの医療機関当たりの平均の患者数が7月下旬まで12週連続で増加し、感染が拡大しています。感染拡大の中で、治療薬の服用が必要なケースがある高齢者や基礎疾患がある方の罹患も増えていると考えられます。しかし、新型コロナウイルスの治療薬に対する公費支援が無くなったことで、治療薬を服用するには高額な費用を負担しなければならず、服用したくてもできない状況となっています。

今後も感染が拡大すると見込まれており、治療薬を必要とする患者が増えると想定されます。治療薬が必要であるにもかかわらず、経済的理由から服用できず、重症化したり、命を落としてしまうということがあってはなりません。感染拡大の中で重症化する人が増えれば、病床が逼迫し、医療崩壊が起こるおそれもあります。

よって、政府に対し、以下の事項を速やかに実施するよう強く求めます。

要請事項

新型コロナウイルスの流行が収まるまでの間、高齢者や基礎疾患がある方を中心として治療薬の公費支援を行うこと。

以上